

2019年1月7日

## 抗インフルエンザウイルス薬「ゾフルーザ®錠」の 「十大新製品賞 増田賞」受賞について

塩野義製薬株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：手代木 功、以下「塩野義製薬」または「当社」）は、抗インフルエンザウイルス薬「ゾフルーザ®錠」が日刊工業新聞社の「2018年（第61回）十大新製品賞 増田賞」を受賞しましたことをお知らせいたします。

「十大新製品賞」は、日刊工業新聞社が優秀な新製品の開発奨励や、日本の産業界の技術水準の向上に資することを目的として1958年に創設された制度です。「増田賞」は、その中でも特に優秀と認定された製品に贈られる最高賞です。今回、学会・研究機関をはじめ、産業界など各界権威の見解を広く求め厳選された結果、当社のゾフルーザ®錠が十大新製品賞の増田賞を受賞しました。

ゾフルーザ®錠は、塩野義製薬が創製したキャップ依存性エンドヌクレアーゼ阻害薬で、既存の薬剤とは異なる新しい作用機序でインフルエンザウイルスの増殖を抑制します。1回のみ錠剤の服用で治療が完結するため、利便性が高く、良好なアドヒアランスが期待できる薬剤です。2015年10月に厚生労働省より先駆け審査指定制度の対象品目に指定され、2018年2月23日に製造販売承認を取得し、同年3月14日に販売を開始いたしました。

塩野義製薬は「創薬型製薬企業として社会とともに成長し続ける」ことを経営目標として掲げた中期経営計画SGS2020の中で、「世界を感染症の脅威から守る」ことを当社が取り組むべき社会課題の一つにあげております。今後も人々の健康を守るために必要な感染症治療薬を世界中の患者さまのもとにいち早くお届けできるよう、引き続き努力してまいります。

以 上



【お問合せ先】

塩野義製薬株式会社 広報部 TEL：06-6209-7885